

# 平成25年度 【 学園研究費助成金< B > 】 研究成果報告書

学部名 人間関係学部

フリガナ イホベ ヒロシ  
氏名 五百部 裕

研究期間 平成25年度

研究課題名 アフリカ産オナガザル科霊長類の採食戦略の解明

## 研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	五百部 裕	人間関係学部	教授
研究分担者			
研究分担者			

### 1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

本研究を含む申請者による一連の研究の最終目的は、アフリカに生息するオナガザル科霊長類の採食戦略の特徴を、生態学的手法と形態学的手法の共同作業によって探求するとともに、遺伝学的手法も取り入れて、より詳細に解明しようとするものである。すなわち、直接観察による彼らの採食行動に関する資料の収集、食物の硬さの測定と彼らの頭蓋や歯の形態学的解析、そして味覚に関係する遺伝子の解析によって、食物選択の個体差や地域差、種間差を明らかにすることを目的としている。そして本研究はその一部をなすもので、彼らの採食行動に関する資料を継続的に収集することを目的とする。

### 2. 研究方法等 (300字程度で記述)

上記の目的を達成するため、本研究ではウガンダ共和国カリンズ森林において、オナガザル科霊長類であるアカオザル、アオザル、ロエストザル、アビシニアコロブス4種の直接観察を行い、彼らの行動、とくに採食行動に関する資料を収集する。具体的には、人づけされているこれら4種の群れを対象に群れ追跡を行い、5分ごとに視界内の個体の行動や利用している高さ、採食している場合には採食物の名前を記録する。申請者が現地に滞在している時は、申請者自身がこうした記録を収集し、申請者が不在の場合には、継続的な資料収集のために現地アシスタントが同様の資料を収集する。

### 3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

京都大学霊長類研究所助教である橋本千絵氏が研究代表者を務める文部科学省科学研究費補助金(研究課題名:生殖ホルモンの動態と性行動の分析による野生チンパンジーとボノボの繁殖戦略の研究)の研究分担者として、平成25年8月2日より同年9月9日まで、ウガンダ共和国カリンズ森林へ出張した。現地では、オナガザル科霊長類のうち、おもにロエストザルとアオザルの観察を行った。ロエストザルについては、個体追跡法により、追跡個体の行動や利用している高さ、採食品目、他個体との社会交渉等について記録した。またアオザルについては、人づけされている群れの群れ追跡を行い、スキャンサンプリング法を用いて、5分ごとに視界内の個体の行動や利用している高さ、採食品目等を記録した。今回の調査で収集した資料は、過去の調査で収集した資料とあわせて、現在分析中である。なおこれまでの研究により、1)ロエストザルは地上付近を利用することが多く昆虫食の割合が高いこと、2)アオザルはロエストザルに比べてより高い樹冠部の利用が多く果実の採食割合が高いことが明らかになっているが、今回得られた資料の予備的な分析では、同じような傾向を確認することができた。また、私の滞在中に、現地アシスタントの再訓練を行い、研究方法に記した資料を、私の不在中にも収集できる体制を構築してきた。現地アシスタントが収集した資料については、平成26年2月から3月にかけて行う現地調査の際に回収してくる予定である。

### 4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①オナガザル	②アカオザル	③アオザル	④ロエストモンキー
⑤コロブス	⑥採食生態	⑦種間比較	⑧カリンズ

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもの数件を記載。)

五百部裕・小田亮編著、心と行動の進化を探る：人間行動進化学入門、204頁、2013年9月5日発行、朝倉書店  
五百部裕・田代靖子・郷もえ・小藪大輔・清水大輔、オナガザル科霊長類の食物重複と食物の堅さ、第50回日本アフリカ学会大会、2013年5月26日  
田代靖子・五百部裕、ウガンダ共和国カリンズ森林におけるロエストモンキー (*Cercopithecus lhoesti*) のアロマザリング行動、第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会、2013年9月7日